



みやぎ自動車産業振興プランの中間評価

(1) プラン策定の経緯・背景

大手部品メーカー
等を中心とした
サプライチェーン
の形成

東北地方(岩手)
で完成車メーカー
の工場が
稼動を開始

宮城県内
で完成車メーカー
の工場が
稼動を開始

1960

1970

1980

1990

2000

2010

「みやぎ自動車産業振興協議会」の設立(2006. 5) - - - ➔ ●

「みやぎ自動車産業振興プラン」策定(2012. 5) - - - ➔ ●

- ・1960年代, 宮城県内に大手自動車部品メーカーが相次いで工場を立地
⇒大手メーカーを頂点としたサプライチェーンが形成されるに至る。
- ・1993年には岩手県において完成車メーカー(関東自動車(株)岩手工場)が稼動を開始
⇒新規需要の取り込みを目指し, 「みやぎ自動車産業振興協議会」が発足(H18.5)
- ・2011年には宮城県内で完成車メーカー(セントラル自動車(株)大衡工場)が操業を開始
⇒地元企業の参入を一層加速させるため,
「みやぎ自動車産業振興プラン(H23~H32)」を策定。

(2) みやぎ自動車産業振興プラン概要 その1

三本柱 ……①「受注獲得」 ②「人材育成」 ③「技術開発」

①受注獲得 ～地元企業・立地企業一丸となり、一品でも多くの受注を～

挑戦 ～強みを売り込む・課題を見つけ絶えざる挑戦～
展示商談会，ニーズ提示型商談会，サプライチェーン調査 等



向上 ～強みを伸ばす～
生産現場改善，新技術・新工法研究開発促進 等



自己発見 ～強みを見出す～
光る技術の発掘，企業間連携促進，自動車部品機能・構造研修 等



②人材育成 ～開発力・現場力向上を目指し～
トヨタ東日本学園との連携，研修支援 等

③技術開発 ～新技術・新商品の開発～
技術センター東北との連携，東北大学との連携 等

(2) みやぎ自動車産業振興プラン概要 その2

「宮城の将来ビジョン・
震災復興実施計画」
と
「みやぎ自動車産業振興プラン」

H26～29 再生期

- 現調化の動きに呼応し新規参入, 取引拡大する企業が増加
- サプライチェーンの形成
- 次世代自動車技術研究開発が進展

H23～25 復旧期

- 生産設備の復旧などにより県内自動車関連企業が生産を再開
- 生産能力及び受注量が震災前の水準へと回復する企業も

H30～32 発展期

- 宮城・東北が国内有数の自動車生産拠点となり東北一円でのサプライチェーンが強固に構築
- 製造品出荷額等が安定的に増加

「自動車関連産業」
↓
○ 産業振興の柱
○ 復興のけん引役

自動車産業振興プラン前期
(H23～H27)

自動車産業振興プラン後期
(H28～H32)

(3) みやぎ自動車産業振興プランの中間評価について

経緯

<参入へのチャンスが拡大>

宮城県内における完成車工場の稼動開始(H23.1)にともない、それまでの大手部品メーカーを頂点としたサプライチェーンに加えて現地調達の新たな需要が発生し、県内企業にとっては新規参入や取引拡大の機会が広がっている。

<地元企業の参入へ向けた支援を展開>

この好機をとらえ、「みやぎ自動車産業振興協議会」では、「みやぎ自動車産業振興プラン」を策定。H23～H27を「前期」、H28～H32を「後期」と位置づけ、「受注獲得」「人材育成」「技術開発」を三本柱として県内企業の自動車産業への参入を支援してきた。

現状

<一部に新規参入の動きがみられるが、競争力の向上が課題>

地元企業の中には新規参入・取引拡大を果たした企業が出てきた一方、自動車産業における商習慣の違いや見積価格の高止まりなどを背景に、受注まで至っていない企業も少なくない。さらに、サプライチェーンの形成が進むことで、新規参入のハードルは今後高まっていくことが予想される。

方針

- ① 宮城県内の自動車産業について現状を把握し分析
- ② プラン前期(H23～H27)に実施してきた各支援事業の効果検証
- ③ 今後の自動車産業をとりまく状況の変化に関する考察
- ④ 後期(H28～H32)に実施すべき事業の方向性・内容の検討

(4) 今後のスケジュール

| H26年度 | | H27年度 | | | | H28年度 | |
|---------------|-------|----------|------|------------|-------|--------------|------|
| 10～12月 | 1月～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1月～3月 | 4～6月 | 7～9月 |
| ①現状の把握・データの分析 | | ②企業情報の収集 | | ③実施する事業の検討 | | ④素案の作成・ヒアリング | |
| | | ⑤最終案の作成 | | | | 総会で決議 | |
| | | ●協議会総会 | | | | ●協議会総会 | |

- ①「現状の把握・データの分析」…宮城の自動車産業の沿革・現状に関する客観的な考察
- ②「企業情報の収集」…地元企業の”生の声”を聞く
- ③「実施する事業の検討」…具体的な行動指針の検討
- ④「素案の作成・ヒアリング」…関係機関(企業・自治体・諸団体等)
- ⑤「最終案の作成」
- ⑥総会で決議→発効